

平成 26 年 4 月 24 日

各 位

会社名 株式会社 ラック  
代表者名 代表取締役社長 高 梨 輝 彦  
(JASDAQ・コード番号：3857)  
問合せ先 IR 広報部長 岩 崎 勝  
電 話 03-6757-0107

## Apache Struts 2 の脆弱性が、サポート終了の Apache Struts 1 にも影響することへの 注意喚起に関するお知らせ

当社のサイバー・グリッド研究所は、Apache Struts 2 に存在するとされた、リモートの第三者による任意のコード実行を許す脆弱性(CVE-2014-0094)と同様の問題が Apache Struts 1 においても存在していることを確認し、本日、以下のとおり注意喚起しましたのでお知らせいたします。

記

2014 年 04 月 24 日

### Apache Struts 2 の脆弱性が、サポート終了の Apache Struts 1 にも影響することへの注意喚起 ～国内でいまだ大量稼働する Struts 1 利用企業に、直ちに緩和策を～

株式会社ラック

株式会社ラック サイバークリッド研究所は、Apache Struts 2 に存在するとされた、リモートの第三者による任意のコード実行を許す脆弱性(CVE-2014-0094)と同様の問題が Apache Struts 1 においても存在していることを確認しました。

Apache Struts は、Apache ソフトウェア財団の Apache Struts プロジェクトで開発とサポートがおこなわれているオープンソースでの Java Web アプリケーションフレームワークです。

現在は、Struts 2 がサポートされていますが、2008 年 10 月 4 日に最終版が公開され、2013 年 4 月 5 日でサポート終了となった、Struts 1 においても、同様の脆弱性が存在します。しかし、Struts 1 はサポート終了しており、当該プロジェクトからは公式なアナウンスは出ておらず、今後正規の更新プログラムの提供もされないものと考えられます。

一方、Struts 1 が稼働している Web サイトは、官公庁や公益法人、銀行などを含め国内に数多く存在しており、提供ベンダーからの個別サポートなど個々で特別な対応を行ってない限り攻撃に関して脆弱な状態のままと推測されます。

昨年発見された Struts 2 の脆弱性の多くが攻撃に悪用された実績からして、攻撃は必ず発生する前提で対応する必要があると考えます。

▼ 本注意喚起の全文は、当社 Web サイトにて公開しております。

[http://www.lac.co.jp/security/alert/2014/04/24\\_alert\\_01.html](http://www.lac.co.jp/security/alert/2014/04/24_alert_01.html)

以上